

整理番号	平成25年度事務事業評価書(平成24年度事業) 《評価書の記載内容》			
事務事業名	評価対象の事務事業名		担当部課グループ	担当部署・グループ名
予算コード	予算コード	予算事業名	予算事業名	
根拠法令・条例等	事務事業の根拠となる法令や条例, 計画書等の名称			
総合計画施策体系	大項目	中項目	小項目	細項目
	総合計画の位置付け(体系)を記載する。			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 毎年(事業開始年度 平成 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 年度～ 年度)			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託(指定管理含) <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他( )			
外部評価	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当無し		この事務事業の実施期間(開始時期), 実施方法等を記載する。	

### 1 事務事業の現状把握 [PLAN/DO]

#### (1)事業の目的・内容

事業の目的	事業の目的を記載する。
事業の対象	事務事業の対象者(誰・何)を記載する。
手段 (具体的な取組内容)	事務事業を実施する上での事務手順や具体的な取組内容を記載する。
意図 (上位基本事業への貢献)	事務事業を推進した結果, どのような効果や成果があるのか, 総合計画の基本事業にどのように貢献するのか, その内容を記載する。

#### (2)指標値・投入量(コストの推移)

指標名		単位	前年度	評価年度	平成25年度	備考		
活動指標	目標値					この事務事業を推進する上で, 活動量を示す指標を設定し, 目標値と実績値を記載する。		
	実績値							
	達成度							
成果指標	目標値					この事務事業を推進する上で, 「対象」がどの程度, 意図する状態になったのかを示す指標を設定し, 目標値と実績値を記載する。		
	実績値							
	達成度							
投入量	年度別決算・予算	単位	前年度(実績)	評価年度(実績)	平成25年度(予算額)	平成26年度(予算見込額)	平成27年度(予算見込額)	
	(財源内訳)	事業費(A)	千円					
		国庫支出金	千円	1年間に投じた職員人件費以外の費用と財源内訳を記載する。				
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円						
人件費	業務に従事した人工数	人	正職員一人が, 1年間を通してこの事務に従事した仕事の量を「1人工」とし, 人工数と市職員の平均給与額により, 人件費を算出する。					
	人件費計(B)	千円						
	トータルコスト(A+B)	千円						

#### (3)目標の達成状況説明

この事務事業を実施し, 活動指標や成果指標の目標に対して, 実績値はどうであったのか, 当該年度の成果(達成度)を踏まえて, 目標の達成状況説明を記載する。
--

(4)事務事業の環境変化

①この事務事業を開始したきっかけ	この事務事業を開始したきっかけを記載する。
②事務事業を取り巻く状況の変化(開始時期と比べてどう変わったか。対象や根拠法令など)	事業開始当時と比べて、対象者や根拠条例など、どのように変化してきているのか、事務事業を取り巻く状況、環境の変化について記載する。
③この事務事業に対して市民・議会・事業対象者等からの意見や要望など	事業対象者、市民、議会等から意見や要望がある際に記載する。

2 事務事業の執行状況評価 [CHECK]

① 妥当性評価	事業の必要性	<input type="checkbox"/> A 必要性の高い事務事業である <input type="checkbox"/> B 社会情勢の変化や国の制度見直しなどから必要性の低い事務事業である <input type="checkbox"/> C 国・県の制度改正や目標の達成状況などから必要性のない事務事業である
	この事務事業は市民等が必要とする事務事業ですか。	社会情勢の変化や国・県の制度改正、これまでの目標達成状況等から、事務事業の必要性が低くなったり、必要性がなくなっていないかという観点で評価し、判断理由を記載する。
① 妥当性評価	市関与の必要性	<input type="checkbox"/> A 市関与の必要性が高い事業である <input type="checkbox"/> B 今後は民間・国・県の関与を拡大すべき事業である <input type="checkbox"/> C 今後は民間・国・県が主体的に行うべき事業である
	この事務事業を市が行う必要がありますか。民間、国・県の関与を拡大できませんか。	事務事業を実施する主体が市でなければならないのか、継続して実施する事業でも市が関与する必要があるのかという観点で評価し、判断理由を記載する。
② 有効性評価	事業の成果	<input type="checkbox"/> A 期待したとおりの成果がある(今後向上の見込みがある) <input type="checkbox"/> B 期待したほどの成果が見られない <input type="checkbox"/> C 成果が少なく今後も向上の見込みがない
	この事務事業を実施することによって、目標とする成果がありましたか。	当初の目的に沿って、期待とおりの成果が発揮されているか、今後成果が期待できるかという観点で評価し、判断理由を記載する。
③ 効率性評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> A 事業を推進する上で、事業費を削減できない <input type="checkbox"/> B 事業を推進する上で、事業費を削減できる余地がある <input type="checkbox"/> C 事業を推進する上で、事業費を削減できる
	この事務事業を推進する上で、コストを削減できますか。	経費は適正に積算されているか、積算方法を再検討することで、経費を削減できないかなど、コスト削減余地の観点で評価し、判断理由を記載する。
④ 公平性評価	受益者負担	<input type="checkbox"/> A 受益者負担を求めるものではない <input type="checkbox"/> B 受益者負担を見直す余地はない <input type="checkbox"/> C 受益者負担を見直す余地がある
	この事務事業は受益者負担の見直しや受益者負担を求めるものですか。	この事務事業を推進する上で、受益者負担を求めたり、受益者負担の見直しなど、事業対象者へのサービス提供と受益者負担という観点で評価し、判断理由を記載する。

3 評価結果の総括と今後の方針 [ACTION]

総合評価	<input type="checkbox"/> A 必要性・効果が高い <input type="checkbox"/> B 必要性・効果がある <input type="checkbox"/> C 必要性・効果がない
今後の方針	<input type="checkbox"/> A 拡充 <input type="checkbox"/> B 現行どおり <input type="checkbox"/> C 見直し <input type="checkbox"/> D 縮小 <input type="checkbox"/> E 廃止・休止
取組内容(改善内容)	≪総合評価≫ 総合評価は、原則として「①妥当性評価～③効率性評価」の絶対評価で実施する。⇒ ①「妥当性評価～③効率性評価」のすべての評価が「A」であった場合、総合評価は「A」となる。一部に「B」、「C」があれば、総合評価は「B」又は「C」となる。 ≪取組内容≫ 次年度以降、どのような方向性で事業を推進するのか(事務事業の推進方策や改善内容等)を記載する。